

- 問1 九州地方南部に位置する鹿児島県の大隅半島などには、「シラス台地」と呼ばれる火山灰が厚く堆積した地形が広がっています。この地域で肉用牛や豚などの畜産業が盛んになった地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. シラスは非常に水はけが良く、水田稲作に必要な水を保持しにくかったため、土地を広く活用できる畜産が発展した。 | 2. シラス台地は標高が高く一年中冷涼な気候であるため、暑さに弱い肉用牛の飼育に適した環境であった。 | 3. 広大な台地をすべて森林にする計画があったが、火山ガスの影響で樹木が育たず、やむを得ず畜産に転換した。 | 4. 火山灰に含まれる特殊な鉱物資源が家畜の飼料として最適であり、周辺の県からも家畜が集まるようになった。 |
|--|--|---|---|
- 問2 日本の地方別畜産産出額に関する統計において、九州地方はある品目の産出額が約3348億円に達し、北海道や東北、関東といった他の地方を大きく引き離して全国で最も高い水準にあります。この品目は何ですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|------|------|--------|
| 1. 乳用牛 | 2. 豚 | 3. 鶏 | 4. 肉用牛 |
|--------|------|------|--------|
- 問3 日本の都道府県別の茶の生産量割合を示した統計資料において、一位の静岡県（約40%）に次いで、国内第二位となる28.6%の割合を占めている九州地方の県はどこですか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島県 | 2. 三重県 | 3. 宮崎県 | 4. 福岡県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問4 福岡県北九州市周辺の地域では、明治時代に官営の製鉄所が建設された歴史背景を活かしつつ、現在は環境負荷の低減を目指したまちづくりが行われています。このように、廃棄物をゼロにすることを目指してリサイクル工場などが集まった地域のことを何と呼びますか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|------------|
| 1. 工業団地 | 2. ハブ空港 | 3. エコタウン | 4. スマートシティ |
|---------|---------|----------|------------|
- 問5 九州地方の北部に位置し、福岡県と佐賀県にまたがって広がる、日本を代表する稲作地帯として知られる平野はどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 熊本平野 | 2. 筑紫平野 | 3. 宮崎平野 | 4. 十勝平野 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 九州の北方に位置し、古くから日本列島と朝鮮半島を結ぶ海上交通の中継地となってきた島と、その付近を通り日本海へと流れ込む暖流の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-------------|------------|------------|
| 1. 杬岐・日本海海流 | 2. 対馬・リマン海流 | 3. 杬岐・対馬海流 | 4. 対馬・対馬海流 |
|-------------|-------------|------------|------------|
- 問7 九州地方の冬の気候が、東京などの他の地域と比べて比較的温暖である理由を説明した次の文章の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして正しいものを選びなさい。「九州の太平洋側には（①）が流れ、そこから分岐して東シナ海から日本海側へと（②）が流れている。これらはどちらも（③）であり、周辺の気温を上げる役割を果たしている。」 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. ①親潮（千島海流） ②対馬海流 ③寒流 | 2. ①黒潮（日本海流） ②対馬海流 ③暖流 | 3. ①黒潮（日本海流） ②リマン海流 ③暖流 | 4. ①親潮（千島海流） ②リマン海流 ③寒流 |
|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|
- 問8 ある都市の統計において、第3次産業の就業者割合が約84.5%と非常に高く、65歳以上の高齢者割合も約31.0%に達している場合、その都市の産業特性として考えられる内容を次の中から選びなさい。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 温泉などの観光資源を基盤とした宿泊業・サービス業が産業の主軸となっており、観光に従事する人々が産業の大部分を占めている。 | 2. 高速道路のインターチェンジ付近に半導体工場などの工業団地が形成されており、製造業に従事する第2次産業の割合が高い。 | 3. 大都市圏のベッドタウンとして機能しており、都心部へ通勤する会社員が多いため、夜間人口が昼間人口を大きく上回っている。 | 4. 平野部において高度に機械化された稲作が行われており、周辺自治体に比べて第1次産業の就業者数が突出している。 |
|---|--|---|--|
- 問9 日本の農業に関するある統計資料において、第1次産業に従事する人の割合が全国平均より高く、さらに食料自給率が190%という極めて高い数値を示している鹿児島県の特徴について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2024年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. シラス台地と呼ばれる火山灰が堆積した土地が広がっており、さつまいもの生産や豚の飼育が全国トップクラスである。 | 2. 四国地方に位置しており、黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用した野菜の促成栽培が産業の中心である。 | 3. 広大な土地と冷涼な気候を活かし、乳牛の飼育を中心とした酪農や、大規模な機械化による畑作が行われている。 | 4. 日本海側に位置しており、冬の積雪を活かした稲作が盛んで、銘柄米の生産に力を入れている。 |
|---|---|--|--|
- 問10 九州の複数の都市の産業構造を比較した際、第2次産業の就業者割合が他の都市より際立って高い都市に共通する要因として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 1. 金融業や保険業に従事する人口が多く、都市機能が高度に発達していること | 2. 農林水産業に従事する人口が多く、食料品の加工が産業の中心であること | 3. 製造業に従事する人口が多く、特に自動車関連の工場が集積していること | 4. 医療や福祉などのサービス業に従事する人口が多く、高齢化社会に対応していること |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
- 問11 鹿児島県の南方に位置し、人口約3万人のある島に関する統計資料において、「日本最大のロケット打ち上げ施設（宇宙センター）があり、宇宙開発関連の観光が行われている」「農業ではサトウキビの生産が盛んである」と説明されている島はどこですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 杬岐島 | 2. 奄美大島 | 3. 屋久島 | 4. 種子島 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問12 2020年の統計において、岡山県、愛媛県、沖縄県、宮崎県の4県を比較したとき、製造品出荷額よりも農業産出額の多さが際立ち、特に肉用牛や豚、鶏などの畜産業が盛んで農業産出額において高い割合を占めている九州地方の県はどこですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 沖縄県 | 2. 岡山県 | 3. 宮崎県 | 4. 愛媛県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問13 鹿児島県における豚の飼育状況について、1970年代から2010年代にかけての変化を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---|---|---|
| 1. 飼育戸数と飼育頭数がともに減少し、県全体の生産体制が縮小した。 | 2. 飼育戸数は横ばいだが、一戸あたりの飼育頭数が減ったため、生産効率が低下した。 | 3. 飼育戸数が急増したことにより、一戸あたりの飼育頭数が制限されるようになった。 | 4. 飼育戸数が減少する一方で、一戸あたりの飼育頭数が増加し、経営規模が拡大した。 |
|------------------------------------|---|---|---|